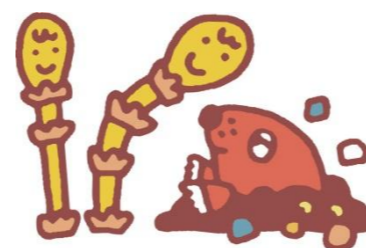




すくすく



No.119 令和8年3月

少しずつ寒さも和らぎ、柔らかな春の日差しを感じるようになりました。いよいよ4月からは進級、進学と子どもたちにとっては大きな変化を迎えます。お子さまたちが元気にそのスタートを切ることができるよう、職員一同、心を込めてお世話をさせていただきます。今後ともよろしくお願い致します。



ちゃんと見えているかな？

視力の発達にはタイムリミットが

赤ちゃんや就学前の子どもは、0.2程度の視力があれば、不便なく日常生活を送れるため、多くの保護者は子どもの視力不良や、片目の視力だけが弱いことに気づきにくいといわれています。しかし、視力が発達するのは6～8歳まで。その年齢まで見えにくい状態を放置しておく、眼鏡をかけても視力が出ない「弱視」になってしまいます。気になることがあれば3歳児健診を待たずに受診して、早期発見・早期治療をすることがとても重要です。

▶ 当てはまるものがあれば受診して！ ▶

<input type="checkbox"/> 物を見るとき、左右どちらかに頭を傾ける、顔を回す、あごを上げる（下げる）	<input type="checkbox"/> 片方の目（視線）が内側に寄っている	<input type="checkbox"/> 片方の目（視線）が外側に向いている
<input type="checkbox"/> 目を細めて見る	<input type="checkbox"/> 目をつぶる	<input type="checkbox"/> 極端に近づいて見ようとする
<input type="checkbox"/> 上目づかい（下目づかい）で物を見る	<input type="checkbox"/> まぶたの形（大きさ）に左右差がある	
<input type="checkbox"/> 屋外で異常にまぶしがる・いやがる	<input type="checkbox"/> 瞳の中央（奥の方）が白く光る	

1歳でも花粉症になる？

花粉症になるのは小学生ごろからと言われていましたが、最近では少ないながらも1歳過ぎでかかる子もいるそうです。小さい子はつらさを言葉で伝えることができないので、気になる症状が見られたら、一度病院を受診をお勧めします。

気になる症状



なってしまうたら

- 花粉の飛ぶ時期は、布団を外に干さない
- 部屋に入るときは、花粉の付いた服を着替える
- 外から帰ったら、ぬれたタオルで顔をふく

すくすくハウスの一コマ

初めて利用した小学生のFちゃん。鞆の片付けが終わると、先に部屋に入っていた学年が少し下のKちゃんに「一緒に遊ぼう！」と積極的に誘っていました。Kちゃんはちょっとびっくりしながらもすぐに仲良くなり、ジェンガやボードゲームなどで仲良く遊びました。その後は、2歳児のAくんも仲間入り！すくすくハウスは年齢が様々でもみんなすぐに仲良くなれる場所です♪



お知らせ

4月6日（月）はつちだ小児科が臨時休診の為、すくすくハウスもお休みさせていただきます。よろしくお願いいたします。

～職員からの一言～

今年度もたくさんの方に利用いただきありがとうございました。初めて利用されるお子さんも受け入れ時には不安いっぱい表情でも、帰るころには笑顔で手を振ってくれ、早く元気になってねと思う日々でした。

今後も子育て真っ最中のお父さんお母さんに寄り添い、心の支えになっていけたらと思います。来年度も、すくすくハウスをよろしくお願いいたします。

感染症情報

今年の冬は1月末に少し雪が降りましたが暖冬だったように思います。これからどんどん春らしくなるのが楽しみです。さて、先月はB型インフルエンザが大流行しましたがそろそろ終息のようです。じわっとヒトメタニューモウイルスや溶連菌感染症が増えてきていますが大きな流行には至っていません。流行中なのはノロウイルスなどのウイルス性胃腸炎です。感染拡大しないよう吐物の始末、手洗い徹底を心がけて下さい。

インフルエンザ 先月は259名（A型12名、B型247名）。A型インフルエンザにかわってB型インフルエンザが流行しました。A型もB型も症状はよく似ていますが、B型は検査で陽性にでにくい傾向があり、2回目や3回目の検査でやっとでたという場合もあります。オセルタミビル（抗インフルエンザ薬）もB型は少し効きにくい感じがします。

胃腸炎 先月は79名。いくつかの保育園で小流行があります。ノロウイルスにまぎれてロタウイルスによる場合もあるようです。乳児期にワクチン接種を受けていないお子さんや年中さん、年長さんが特に重症化しやすいので気をつけて下さい。

溶連菌感染症 先月は28名。溶連菌という細菌がのどに感染して、のどの痛み、熱、体や手足の発疹などが出ます。舌はイチゴのようになります。嘔吐などの胃腸炎症状のこともあります。1歳未満の子に感染するのはまれで、5～15歳の子どもが感染しやすいです。

ヒトメタニューモウイルス感染症 先月は39名。症状は咳や鼻水、鼻閉など、かぜの症状で始まりますが、しだいに咳がひどくなりゼイゼイと苦しそうな息になってきます。途中で肺炎や中耳炎になることもあり、特に6ヶ月未満の赤ちゃんに感染すると重症化しやすいようです。

RSウイルス感染症 先月は3名。大きな流行にはなっていません。

手足口病 先月は21名。本来夏に流行する夏かぜの一種ですが、今頃感染が拡大してきています。手のひら、足のうら、口の中と口の周りに小さな水ぶくれができる病気です。おしりやひざにできることもあります。今年の手足口病は最初に熱がでて後から発疹のことが多いです。手足の水ぶくれは痛みませんが、口の中が痛くて食べられないことがあります。

伝染性紅斑 先月は2名。流行はほぼ終息です。

ヘルパンギーナ 先月は3名。手足口病と同じ「夏かぜ」の代表です。

アデノウイルス感染症 先月は11名。うち5名が咽頭結膜炎で目だけの症状で熱はありませんでした。

新型コロナウイルス(COVID-19)感染症 先月は7名。散発例のみで流行にはなっていません。

水痘 先月は3名。

マイコプラズマ感染症 先月は発生なし。

百日咳 先月は発生なし。

おたふくかぜ 先月は発生なし。

麻しん・風しん 全国的に麻しん発生が報道されています。坂井市でも昨年9月に1例報告がありました。麻しんに対する免疫がなさそうな方は予防接種をお勧めしますが、在庫が乏しく事前に連絡いただいでから来院するようお願い致します。

つちだ小児科「アイチケット」のサイトは「丸岡町近郊の子どもの感染症」をお届けしています。感染症情報に加えて、感染予防対策についても書いているので一度覗いてみて下さい。